

川 越 市

令和6年度決算のポイント



令和7年8月



川越市シンボルマーク

1 決算の規模

【歳入】

一般会計

1,369億4,489万3千円
(対前年度比 47億3,298万5千円増)

【歳出】

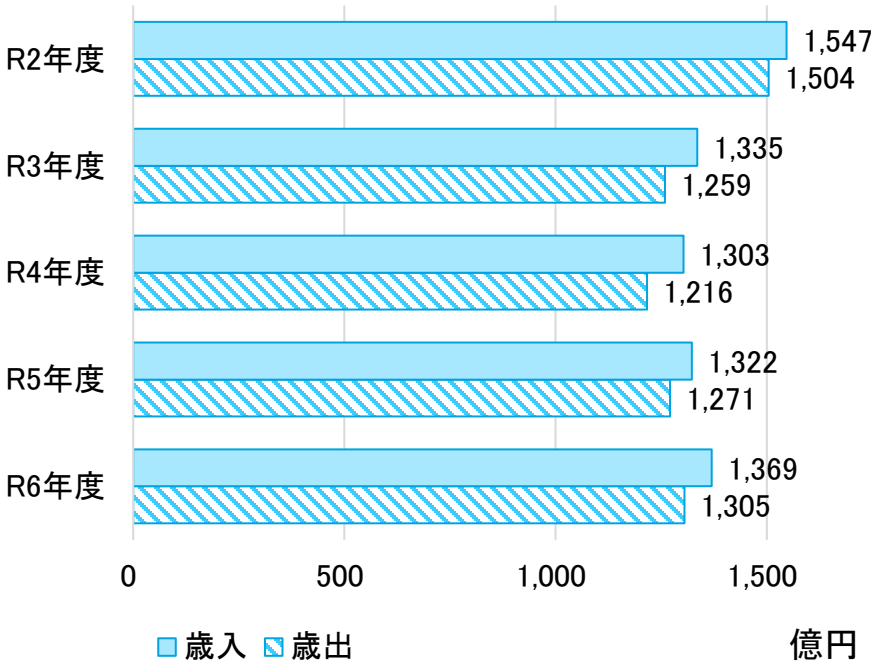
一般会計

1,304億6,934万9千円
(対前年度比 33億7,269万9千円増)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約47億円、歳出では約34億円増加しました。
- 歳入は、国庫支出金や財産収入の減はあったものの、地方交付税や市税の増等により、歳入全体として対前年度比で3.6%増加しました。
- 歳出は、情報システム管理、介護給付・訓練等給付、なぐわし公園の整備に係る経費の増等により、歳出全体として対前年度比で2.7%増加しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



2 決算の収支

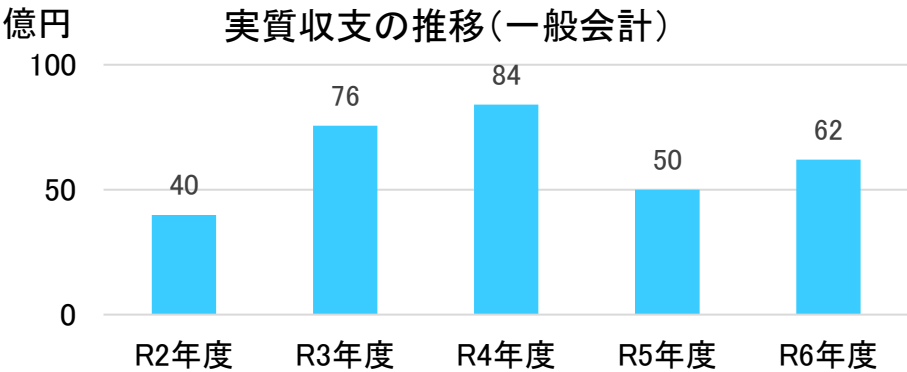
一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
R 5	132,211,908	127,096,650	5,115,257	121,991	4,993,266
R 6	136,944,893	130,469,349	6,475,543	276,080	6,199,462
比較	4,732,985	3,372,699	1,360,286	154,089	1,206,196

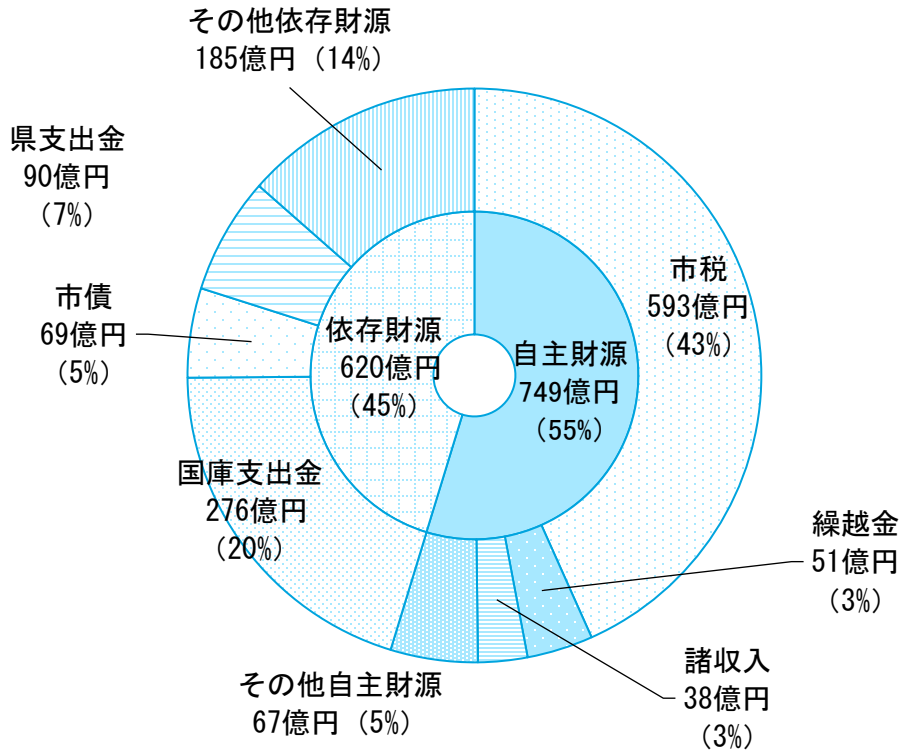
※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、61億9,946万2千円となりました。
- 令和5年度と比較すると、実質収支は12億619万6千円の増加です。



3 一般会計歳入の内訳

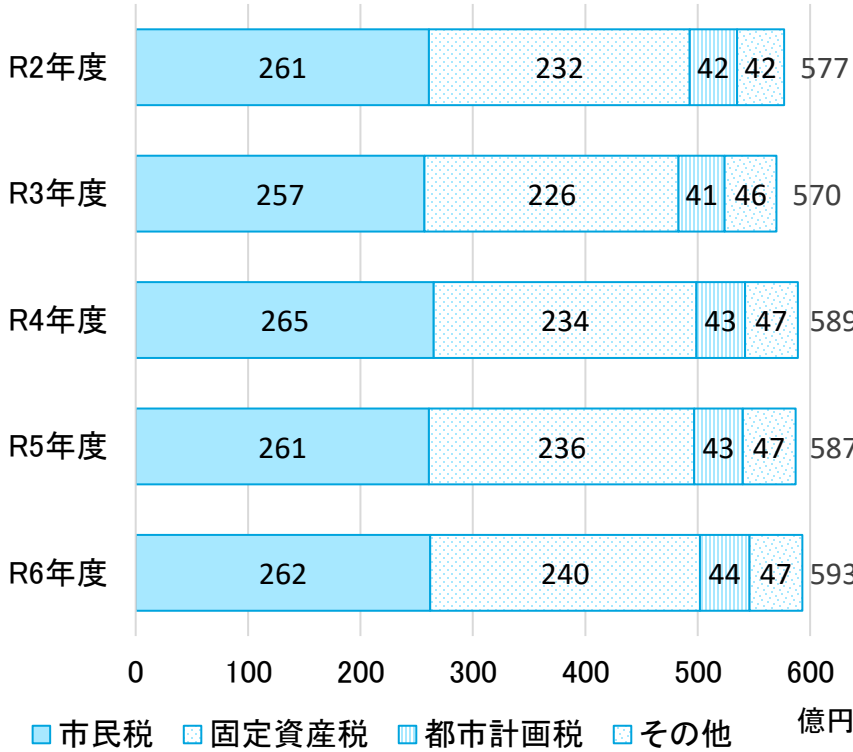
歳入



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 市税の増や国庫支出金の減はあったものの、繰越金の減や市債の増などにより、自主財源の比率が57%から55%となりました。

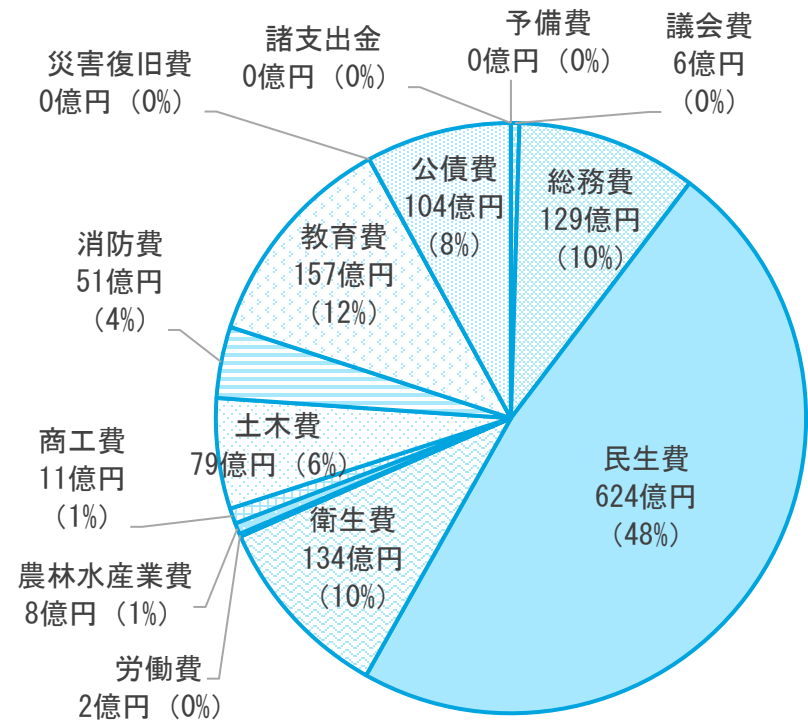
市税収入の推移



- 固定資産税をはじめ、市民税や都市計画税の増などにより、市税収入全体では、対前年度比で約6億円の増となりました。

4 一般会計歳出の内訳

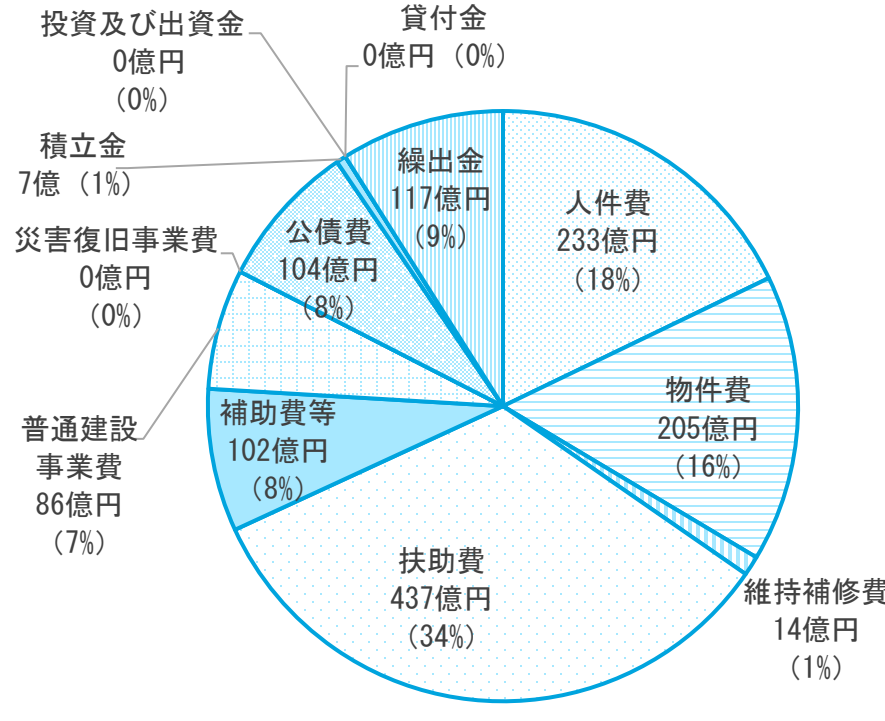
歳 出（目的別）



※ 計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合があるほか、5千万円未満の場合は0億円と表しています。

- 民生費は、全体の4割以上を占めています。対前年度比では、約26億円の増となりました。
- 教育費は、対前年度比で約24億円の増となりました。

歳 出（性質別）

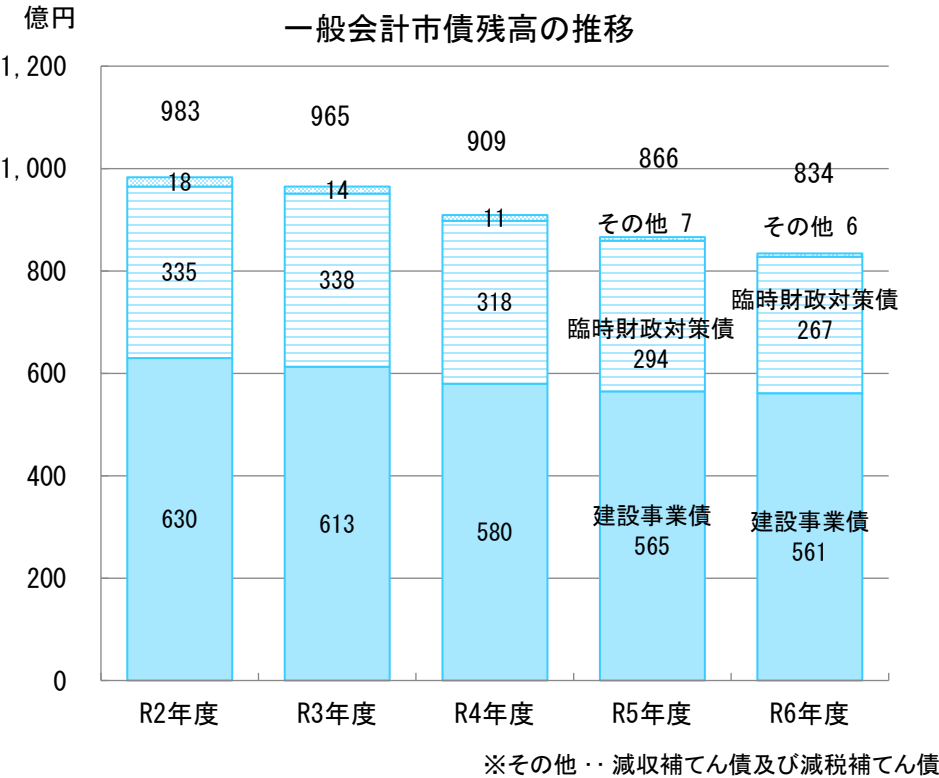


※ 計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合があるほか、5千万円未満の場合は0億円と表しています。

- 扶助費は、全体の約1/3を占めています。対前年度比では、約27億円の増となりました。
- 普通建設事業費は、対前年度比で約11億円の増となりました。

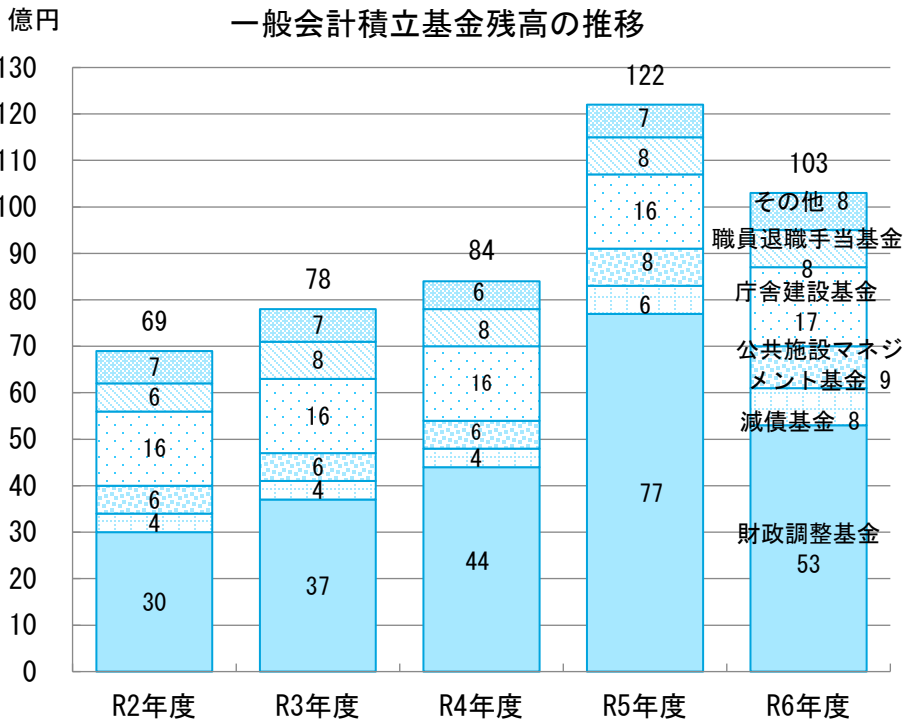
5 市債残高及び積立基金の状況

市債残高の状況



市債残高は、前年度末より約32億円の減となりました。

積立基金の状況



積立基金残高は、前年度末より約19億円の減となりました。

6 物価高騰対策

生活者支援の取組

物価高騰対応支援給付金事業

決算額：4,213,234千円

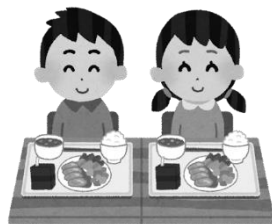
定額減税に伴い給付の対象となる方や住民税非課税世帯等への物価高騰重点支援給付金の給付を行いました。



学校給食における給食食材費高騰対策

決算額：113,142千円

給食食材費の高騰による影響を抑制し、給食の質と量を確保しました。

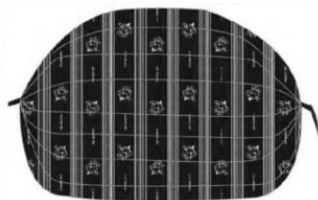


事業者支援の取組

置き配バッグ無料配布

決算額：56,012千円

宅配事業者の再配達を抑制するため、希望する市民に置き配バッグを配布しました。



公共交通事業者乗務員確保・育成支援

決算額：8,063千円

路線バス事業者及びタクシー事業者に対して、乗務員の確保や従業員の二種免許取得費用を支援しました。



LED照明器具導入支援

決算額：7,450千円

エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業等に対して、LED照明切り替え工事に要する費用を支援しました。



商店街街路灯のLED化等支援

決算額：3,572千円

エネルギー価格高騰の影響を受ける商店街に対して、LED照明切り替え工事等に要する費用を支援しました。



7-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

芳野・古谷地区公立保育所整備

「川越市公立保育所のあり方」の考え方に基づき、老朽化している古谷保育園と古谷第二保育園の一体的な整備を推進するための設計業務を行いました。

(担当部署: こども未来部
こども政策課)

決算額: 19,807千円



整備イメージ

高齢者補聴器購入費補助

認知症予防の一助となる高齢者の耳の聞こえを改善する補聴器について、その利用を促進するため、購入費の補助制度を創設しました。

※管理医療機器認定を受けた製品の購入費用について、3万円を上限に助成

決算額: 10,499千円



(担当部署: 福祉部 高齢者いきがい課)

乳幼児健康診査の充実

乳幼児の出生から就学前まで切れ目のない健康診査を行うため、新たに1か月児健診と5歳児健診の実施を図りました。

1か月児健康診査

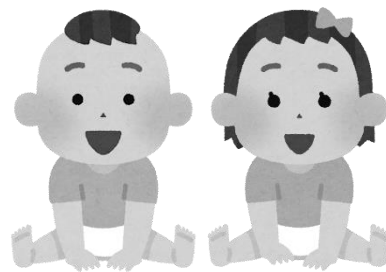
医療機関に委託して行う
個別健康診査

5歳児健康診査

希望者に対する集団健康診査

(担当部署: こども未来部 母子保健課)

決算額: 3,581千円



7-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ、環境】

- 教育・文化・スポーツ分野では、教育環境の改善やスポーツを通じた健康増進に取り組む基盤整備などを推進しました。
- 環境分野では、老朽化した施設の更新に向けた取組などを推進しました。

学校部活動における地域連携・地域移行の推進

川越市立中学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を目的として、部活動の地域連携を推進するとともに、休日の地域クラブへの地域移行を段階的に進めるため、部活動指導員の増員やモデル事業を実施しました。

決算額：3,366千円



(担当部署：文化スポーツ部 文化芸術振興課、スポーツ振興課、学校教育部 教育指導課)

宮元町多目的グラウンド整備

スポーツを通じた健康増進と地域の活性化を推進するため、用地取得と設計業務を行いました。

(担当部署：文化スポーツ部
スポーツ振興課)

決算額：188,857千円



整備イメージ

環境衛生センター施設整備

老朽化した環境衛生センターの更新について、設計・施工・維持管理及び運営業務を一括して発注するDBO方式にて施設整備を実施するため、事業者の選定に係る支援業務委託を実施しました。

(担当部署：環境部 環境施設課)

決算額：11,238千円



環境衛生センター

7-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活】

- 都市基盤・生活基盤分野では、防災機能を有する広場の整備など、駅周辺における都市機能の向上を推進しました。
- 地域社会・市民生活分野では、地域におけるコミュニティ活動を支援するための基盤づくりなどを推進しました。

防災ラジオの導入

避難指示等の緊急情報について、情報伝達手段の強化を図るため、コミュニティFM放送の電波を利用して受信し、自動的に最大音量で放送する機能を備えた防災ラジオを導入し、市民等へ低額で販売しました。

決算額：15,530千円



(担当部署：防災危機管理室)

仮称新宿町1丁目広場の整備

川越駅西口の埼玉県川越地方庁舎跡地について、防災機能を有する広場として活用を図るため、整備工事に着手しました。

(担当部署：都市計画部
公園整備課)

決算額：120,910千円



整備イメージ

地域コミュニティ活動拠点の整備

仮称霞ヶ関北市民センターは、令和7年度の完成を目指し、継続費を設定して建設工事に着手しました。

また、仮称芳野市民センターの整備に向け、設計業務を実施しました。

決算額：439,733千円



仮称霞ヶ関北市民センター
の整備イメージ

(担当部署：市民部 地域づくり推進課)

7-4 主な事業の成果【産業・観光】

- 産業・観光分野では、住民の生活の質の確保と観光客の受け入れを両立するため、国の補助金を活用しオーバーツーリズム対策を実施するとともに、グリーンツーリズム拠点施設にキャンプスペースを開設するため、土地造成工事を行いました。

オーバーツーリズム対策

観光客が集中する北部市街地の一部の地域や時間帯において、交通渋滞やマナー違反等による住民の生活への影響や、観光客の満足度の低下への懸念が生じていることから、駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備、ごみポイ捨て防止対策の支援、分散化促進のための観光デジタルマップの作成などの対策を講じました。

（担当部署：産業観光部 観光課）

決算額：43,891千円



企業誘致

決算額：4,950千円

即時的な企業立地を実現するため、市内の空き工場や空き産業用地の調査と同物件を取扱う不動産業者等とのネットワークの構築を実施し、本市への企業立地需要とのマッチング体制を強化しました。

（担当部署：産業観光部 産業振興課）

グリーンツーリズム整備推進

決算額：88,992千円

グリーンツーリズム拠点施設の魅力向上と観光の広域化、滞在時間の延長を図るため、キャンプスペースの整備として土地造成工事を行いました。

また、体験、食事、宿泊を柱として、新たな体験の実施や来訪者への情報発信に向けた取組を推進しました。

（担当部署：産業観光部 農政課）



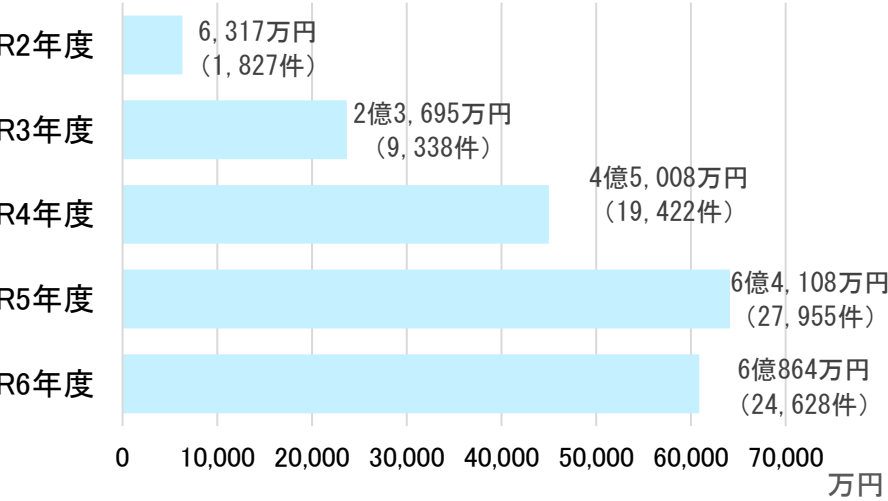
グリーンツーリズム拠点施設

(参考)ふるさと納税の状況

令和6年度は、楽器寄附ふるさと納税を含め、24,628件、6億864万円のご寄附をいただきました。

また、(仮称)新宿町1丁目広場整備事業における寄附植樹事業について、ふるさと納税の枠組みを活用したクラウドファンディングを実施しました。

寄附金の推移(個人)



目 的		件数	寄附金額
分野	子ども・子育てに関すること	5,981件	143,291千円
	福祉・保健・医療に関すること	1,189件	28,079千円
	教育・文化・スポーツに関すること	1,164件	29,081千円
	都市基盤・生活基盤に関すること	459件	9,621千円
	産業・観光に関すること	1,241件	28,554千円
	環境に関すること	929件	21,679千円
	地域社会・市民生活に関すること	235件	5,224千円
	住民自治・行財政運営に関すること	62件	1,394千円
基金	みんなで支える観光基金	273件	5,822千円
	文化芸術スポーツ振興基金	204件	5,344千円
	大学奨学金基金	1件	20千円
その他	福祉基金	13件	14千円
	令和6年能登半島地震支援(代理寄附)	19件	251千円
	(仮称)新宿町1丁目広場整備事業	229件	6,358千円
一般寄附		12,621件	323,779千円
合 計		24,620件	608,511千円
楽器寄附		8件	131千円
合 計(楽器寄附含む)		24,628件	608,642千円